

祝

標津高等学校第70期生

卒業証書授与式

「将来の皆さんに願う事」

標津高等学校教育振興会
会長 梅 木 雅 則



標津高校を卒業される30名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんにとっての高校生活は、あっという間に過ぎ去ったように、感じているのではないのでしょうか。

私も標津高校を卒業したので、皆さんの気持ちをよく理解できます。

今の標津高校は、各学年が1クラスというスタイルですが、それはそれで、先生と生徒一人一人がよく分かり合えるという利点があります。この経験は、将来に必ず役立つ事でしょう。

私が過ごした標津高校の3年間と、今の3年間の大きな違いは、いろいろな資格を在学中に得られることです。これは、本当にすごいことで、就職した時に、既に資格を持っているという最大の武器になります。皆さんは、恵まれた高校で過ごすことができたことを誇りに思ってください。私も素晴らしい高校がある標津町に住んでいることに、大満足しています。

卒業に際し、皆さんにお願いしたいことがあります。

この後、進学、就職した時に、「人には優しく、自分には厳しく」を心掛けてください。簡単に出来る事ではありませんが、このような心掛けの人は、必ず周りから頼りにされる人になります。標津高校の先生方は、皆さんの成長を第一に考える、心温かい方々です。そのような先生方と3年間、一緒に暮らしてきたのだから、皆さんは、他の高校で得ることのできない、人として生きるための大切な学びが培われたことでしょう。

この先、数々の苦労や試練があるかと思います。「人には優しく、自分には厳しく」という理想を求め、努力を続け、新たな環境で頑張ってください。私自身、振興会長として出来ることを考え、理想の実現に向けた取組を、皆さんと共に目指してまいります。

最後になりますが、卒業される皆さんと、ご家族の皆様のご多幸を心より祈念いたしまして、贈る言葉とさせていただきます。

「生きる力の育成」

北海道標津高等学校 校長 渡 辺 幹 夫



厳しい寒さもようやく和らぎ、ここ標津の地にも春の息吹が感じられる季節となりました。

本日ここに、第70期生30名の卒業にあたり、標津高等学校教育振興会、標津町教育関係者の皆様、さらには町民の皆様より、今日まで多大なるご支援とご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

さて、本校は、昭和9年4月に標津村立標津実践女学校としてスタートし、創立50周年を記に制定された校訓「求道自琢」、「仁愛恭儉」、「実践躬行」の下、「持続可能な社会の形成者となり、地域の未来を創る人材となる資質・能力を身につける」を学校教育目標として教育活動を進めております。今年度においては記念すべき創立90周年を迎え、同窓会から多大なるご支援をいただき、ドローンを使つての全校生徒及び全教職員による記念撮影や記念講演会を実施しました。今後は、創立100周年を迎えることができるよう、同窓会の皆様方と連携を図りながら準備を進めて参りたいと思います。

今年度におきましては、コロナが5類に引き下げられたことにより、徐々にではありますが、通常のエデュケーション活動を展開することができるようになりました。しかし、コロナ禍での3年間においては、学校祭などの学校行事が中止または縮小となった関係で、生徒達にとっては経験がないこともあり、運営することに困難を極めました。その様な中でも、生徒会執行部の生徒が中心となり、工夫して学校行事を企画し、運営してくれたおかげで、大変満足のいく学校行事となり、生徒達にも笑顔が戻ってきました。また、新たな取り組みとして、今年度から、町からのご支援により、1年生全員による防災研修を実施することができ、この経験を地域循環型防災教育として、地域に還元して参りたいと思います。さらには、3年生の家庭科の科目「フードデザイン」において期間限定による給食のメニュー開発を行い、卒業生達が考案した地元の特産物を活用したメニューを地元のこども園・小学校・中学校に提供したところ、子どもたちに大好評でありました。このことは、多くのメディアにも取り上げていただいたおかげで、標津高校の知名度を上げるとともに、生徒達の自己肯定感の向上や郷土愛の醸成など、生きる力の育成に繋げることができました。

今後も、このような特色ある取組を推進し、生徒から選ばれるような学校を目指して参りたいと思いますので、地域の皆様方のご理解とともに、卒業生に対するご指導とご鞭撻をお願いいたします。

卒業生の言葉



▶就職するにあたり

私はこれから社会人になります。
3年間でたくさんのことを考え、学ばせていただきました。

学校行事ではチームワークの重要性和大切さを学びました。進路活動では人生に深く関わってくることなので、自分で選んだことに対する責任感や自分を客観視する力を得たと思います。

社会人になることを考えると期待もありますが、同時に同じくらい不安もあります。自分の個性を大切に、今まで培ってきたものを活かしてこれから頑張っていきたいです。また、色々な人のおかげで成長することができたので、人との繋がりを大切に、周りに対する思いやりや気配りを忘れずに仕事に取り組みたいです。

困難に直面し、悩むこともあるとは思いますが、今までの経験を活かして、自分の道を自分で切り開ける人になりたいと思っています。そして、成長した姿をいつか見せられるように、これからも頑張ります。

3年A組 鈴木 新菜



▶進学するにあたり

私は4月から跡見学園女子大学に進学します。将来は、衣食住に関わる仕事をしたいと思い、実践力や教養力を身に付けられる跡見学園女子大学に進学を決めました。

私は3年間、生徒会執行部の活動に力を入れてきました。その中でも特に一生懸命取り組んだのは、防災減災活動です。防災減災活動に一生懸命取り組んだことにより、人に伝える力や人前で話す力を身に付けることができました。色々な方に「成長したね」と言われ、頑張った良かったと思います。その2つの力を身に付けることができ、面接で伝えたいことを伝えることができました。

私のクラスは、大学へ進学する人が少なく、孤独感や焦燥感がありましたが、先生方のサポートが手厚く、夜遅くまで受験の準備に付き合ってくださいました。不安だらけの大学受験でしたが、周りの人達に沢山助けられ頑張ることができました。改めてありがとうございました。

高校で学んだことをもっと活かせるように、大学に入学してからでも自発的に勉強し、啓発活動などもしていきたいです。

3年A組 鈴木 愛加



在校生から卒業生へ

お祝いの言葉

生徒会長 2年A組 太田 珠璃那

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。2年間大変お世話になりました。3年生の仲の良さや学校行事を全力で楽しむ姿、真剣に挑む姿はとてもかっこよく、自分たちもこんな3年生になりたいと思えました。交流する機会はあまり多くありませんでしたが、後輩に優しく接してくれて、先生方にも頼りにされている先輩たちにはたくさんのことを教えてもらいました。先輩たちから学んだことを今後の学校生活に活かしていきたいと思っています。

卒業後は、就職や進学でそれぞれの道に進むことになります。楽しいことだけではなく、悩みや不安を抱えることもあると思います。しかし、先輩たちならきっと大丈夫です。その道に進むまでも、きっと多くの困難があったと思います。標津高校で学んだ知識や経験は、絶対に裏切ることはありません。自分を信じ乗り越えてください。

在校生一同先輩たちの頑張りを応援し、これからの生活が良いものになるよう願っています。



担任から卒業生へ

お祝いの言葉



標津高校3年A組の皆さん、そして保護者の皆様、この度はご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

クラス替えも担任替えもなかった3年間に共に過ごし、無事卒業を迎えられたこと、とても嬉しく思っています。このクラスは、日頃の授業はもちろん、学校行事もみんなが主体的に動いて一生懸命頑張る、自慢のクラスでした。初めて持つ担任で、至らない点もたくさんあったかと思いますが、皆さんのお陰で3年間務めることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

教員の長時間労働が社会問題としてクローズアップされて久しいですが、本校もご多分に漏れず、残業時間が過労死ラインを超えたこともありました。昨年度からは地歴公民科の教員の配置が一人となり、多くの科目を担当することになりました。授業準備や校務分掌、部活などの仕事もあり、担任業務に常に全力を注げなかったのは、本当に申し訳なく思っています。しかし、そんな私を「先生忙しそう。ちゃんと休んでね。」と多くの生徒が気にかけてくれました。生徒に心配されてしまうのは教員として失格かもしれませんが、そんな優しい皆さんの担任だからこそ頑張れました。皆さんは、よく感謝を言葉や態度で示してくれるけど、感謝しなければならないのは私の方です。こんな担任と3年間一緒に活動してくれてありがとう。これからも、皆さんのような「この人のためなら頑張ろう」と思われる人であり続けてください。

卒業を迎え、これからそれぞれの道を歩むことに不安もあるかと思いますが、みんなならきっと大丈夫。自信を持って社会に羽ばたいてください。共にこの社会に揉まれながら、頑張っていきましょう。いつか再会したとき、新しい世界で、新鮮な眼差しで見たこと、感じたこと、色々聞かせてくれると嬉しいです。そして、社会では、経験のない辛くて苦しいこともあるかもしれません。何かにつまずいた時は一度立ち止まり、標津高校での生活を思い出してみてください。きっと心の支えとなるはずです。皆さんの将来が、明るく充実したものとなりますように。いつまでも応援しています。卒業おめでとう。



令和5年度卒業生 進路決定状況

◎大学・短大への進学状況

◆仙台大学 ◆酪農学園大学 ◆跡見学園女子大学

◎高等看護学校への進学

◆釧路労災看護専門学校

◎各種専門学校等への進学

◆札幌科学技術専門学校
◆札幌ミュージック＆ダンス・放送専門学校
◆札幌こども専門学校(2) ◆くしろせんもん学校
◆札幌ヘルエポック美容専門学校(2)
◆吉田学園情報ビジネス専門学校(2)

◆札幌スイーツ＆カフェ専門学校

◆日本聴能言語福祉学院

◆札幌ブライダル＆ホテル観光専門学校

◆札幌デザイナー学院 ◆大原簿記情報専門学校

◎公務員・民間企業等への就職

◆羅臼町役場 ◆中標津町役場(2)
◆羅臼漁業協同組合 ◆中標津町農業協同組合
◆コマツ道東株式会社
◆株式会社マリークウントコスメチックス
◆株式会社あいプラン ◆株式会社北海永徳
◆富士産業株式会社 北事業部

(2月現在)

進路指導部長より

新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、約3年続いたコロナ禍が落ち着きを見せた今年度、高卒求人数も全国的にコロナ禍前に回復しつつある中、本校も多くの求人に恵まれました。今年度は3年生の6割が進学希望でしたが、それぞれの努力が報われ、春から念願の大学や専門学校で新たな一歩を踏み出します。

今年度、進路指導部では各種進路ガイダンス、職業分野研究や、大学キャンパス体験、インターンシップ体験を通して、生徒自身が進路選択の幅を広げ、進路への道筋を立てることができるようキャリア意識の向上を促してまいりました。

さらに、今年度も標津町からのご支援による「スタディサプリ」を活用し、社会人として必要な基礎・基本の学力定着を図り、「到達度テスト」の結果に基づいた連動課題を個別に配信することで生徒の学びをサポートしています。

また、今年度は北海道教育大学釧路校とNPO法人「いきたす」のご協力をいただき「カタリバ」を実施しました。対話型キャリア教育を通して、普段は口にできない自身の内面を表に出し、自らと向き合い理解する機会を作ることができました。

最後になりますが、本校の教育活動、進路活動へのみなさまからの多大なるご支援・ご協力に、この場を借りてお礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

標津高校生給食WEEK!!

12月11日(月)から15日(金)の5日間、標津町内のこども園、小中学校、高校では、「標津高校生給食WEEK!!」として標津高校3年生フードデザインの授業で、生徒が考案したメニューを給食で提供していただきました。標津町給食センターの協力のもと、4月から約半年間かけて準備してきました。5つのグループに分かれ、標津町の皆さんに喜んでもらえる給食を、標津町の特産品を活用して考案しました。



★11日(月)「しか肉ようかんカレー」

しか肉の臭みをとる方法を考え、標津羊羹を隠し味として混ぜるという斬新なアイディアのメニューを考えました。

★12日(火)「ホタテマヨ!!!」

標津小中学校へのアンケートの結果、ホタテを苦手とする子ども達が意外と多く、ホタテを苦手とする子ども達にもホタテを美味しく食べてもらいたいという思いが込められたメニューです。



★13日(水)「デリシャスアンガスバーガー」

標津町の興農ファームさんのアンガス牛を使用しました。「パンの日ってお腹いっぱいにならないよね。パンの日でもお腹いっぱいになるメニューを考えたい」という思いが込められたメニューです。ボリューム満点ですが、ヘルシーなアンガス牛を使用しているため、栄養バランスも満点のハンバーガーを考案しました。

★14日(木)

「一新されたニシンのかば焼き」

ニシンは標津町で今年漁獲量日本一となりました。ただ、骨が多い魚なので、どうしたら給食として提供できるか頭を悩ませ、役場の水産課のご協力で、骨切りの方を教えてください、園児や小学生でも骨を気にせず美味しく食べてもらえるようなニシンのかば焼きを考案しました。



★15日(金)「ほてちーばーく」

ホタテを苦手とする子ども達にも、美味しくホタテを食べてもらいたいという思いから、ホタテをミンチにし挽肉と合わせ、ハンバーグにして標津町のゴーダチーズを載せて、オーブンで焼きました。

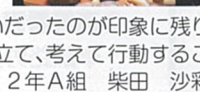
今回の企画は、標津町教育委員会をはじめ、標津町給食センター、標津町役場水産課、こども園、小中学校、多くの方々のご協力・ご理解のお陰で成り立ちました。この場を借りて心よりお礼申し上げます。生徒にとって大変貴重な経験となり、多くの学びがありました。今後も地域と連携し、地域活性化のために貢献できるような授業を行っていききたいと思います。

魅力ある教育活動

▶ 見学旅行 令和5年10月17日～20日



1日目は大阪で自主研修の予定でしたが、飛行機のトラブルがあり、予定の時間に中標津空港を発行することができませんでした。無事、京都のホテルには到着することができましたが、着いた時間が遅く自主研修は中止になってしまいました。気持ちを切り替えて、2日目は奈良公園や清水寺などに行きました。奈良公園では、ガイドの方のお話が面白かったです。また、少しの時間でしたが、鹿とも遊べました。3日目の午前1日目にできなかった自主研修を行い、午後はユニバーサルスタジオジャパンに行きました。自主研修では、東寺と道頓堀に行きました。東寺では五重塔や講堂などに入ることができ、とても貴重な体験になりました。4日目は海遊館に行きました。クラゲがきれいだったのが印象に残りました。この4日間を通して、色々なトラブルもあり、予定通りにならなかったこともたくさんありましたが、自分たちで計画を立て、考えて行動することができたと思います。高校生活で一度しかない見学旅行を無事に終わらせてよかったですし、最高の思い出になりました。



2年A組 柴田 沙彩



10月17日～20日で見学旅行に行きました。

1日目は飛行機のトラブルがあり、5～6時間ほど中標津空港で待機し、別の便で京都まで向かいました。1日目は、計画通りにはいかず、終わってしまいました。2日目は、奈良公園や薬師寺、清水寺にいきました。奈良公園では、たくさんの鹿と遊んできました。鹿せんべいを買って、一気に鹿に集まることができ、少し怖かったです。東大寺の大仏は実際に見るとさらに迫力がありました。薬師寺では、法話を聞きましたが、お坊さんお話し方が上手で楽しかったです。清水寺は、今回、僕が一番行きたかった場所です。あまり長くはいられていませんでしたが、お守りを買ったり、おいしいものを食べたりと、とても楽しく、そこから見る景色がとてもきれいでした。また機会があれば、行きたいです。3日目は大阪で自主研修と、USJに行きました。大阪の自主研修は、本来1日目の予定でしたが、3日目に変更してくださいました。自主研修では、道頓堀に行きましたが、本場のたこ焼きがとてもおいしかったです。USJではパレードを見たり、色々なスポットに行きました。ハリウッドのエリアに行き、お土産を買ったり、映画にもでてるバタービールを飲みました。このバタービールが予想以上においしかったのでお勧めです。夜に見たハローウィン限定のパレードでは、たくさんのゾンビたちが来て驚かせたりダンスを踊ったりと、とても楽しかったです。最終日は海遊館に行きました。初めてジンベエザメを見ることができたのでうれしかったです。ほかにも見たことがない海の生き物がたくさんいました。

この4日間を通して、クラスの皆と無事に見学旅行に行くことができたので、とても楽しかったです。初日にトラブルなどもありましたが、それも含めてよい思い出になりました。

2年A組 小林 巧

▶ 防災学習出前授業 令和5年11月29日



私たち生徒会は、標津小学校を訪問し、防災に関する出前授業を行いました。

今回は、夏休み中に参加した防災研修での講話内容や見学先での体験談を中心に発表しました。その中でも特に強調した内容は、津波についてです。防潮堤が備わっている場所であっても決して安心することはないこと、津波は一瞬にして建物を破壊するほどの力を持っていることを伝えました。後半は、「とっさのひとこと」を使い、東日本震災の教訓をもとに、地震や津波、避難所でのような行動・声かけをすればいいかについて、グループで意見交換をしてもらいました。私たちが出前授業を行うことで、防災に対する意識が上がり、考えるきっかけになってくれればいいと思います。なぜなら、地震や津波はいつ来るか予測できないし、もし、起こっても自ら率先した行動がとれなければ、自ら命を失ってしまう可能性があるからです。これからの防災に関する出前授業を通して、地域の防災意識が向上するように頑張りたいと思います。



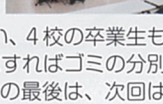
2年A組 芦崎 海風

▶ 知床ユネスコフォーラム2023 令和5年12月2日



私は、羅臼町で行われた「知床ユネスコフォーラム2023」に生徒会役員として参加しました。

午前中は知床圏の4つの高校(羅臼・斜里・清里・標津)で各学校の活動報告を共有しました。活動報告の中で1番印象に残ったものは、ヒグマが生ごみなどを荒らさないようにゴミ箱自体を重たくし、固定する対策を行っていることです。午後からは、グループディスカッションを行い、4校の卒業生もファシリテーターとして参加してもらい、どのようにすればゴミの分別が楽しくできるかをテーマに話し合いました。交流会の最後は、次回はどうのような課題について話し合いをするかを決めました。普段他校と交流する機会がないので、知床圏の高校生と交流することができてとても有意義な会になりました。



1年A組 今村 朱夏

▶ 北から南へ ホタテで結ぶ海洋教育

本校は、海洋教育パイオニアスクール単元開発(日本財団)に取り組み、今年で5年目となります。その中でもホタテの学びは、教科横断的な学びに発展し、今年度は、いよいよ南の島までたどり着きました。生物(3学年)では、ホタテの解剖から軟体動物の形態と機能を理解し、脊椎動物との比較を行い生物学的な学習を深めました。そして、フードデザイン(3学年)では、ホタテを使ったシチュエーションやサラダで食を学びました。その学びを石垣島の小学生に伝えるという最後のミッション。生徒達は、標津の自然や産業を伝え、ホタテの生態を子ども達にわかりやすく説明しました。毎年、実施するホタテ学習では、標津漁業協同組合の皆様のご協力と実施させていただいています。特色ある教育活動へのご協力へ心から感謝申し上げます。



▶ ビジネス文書実務検定合格

1年A組 佐藤 猛

私は、11月26日に中標津高校で行われたビジネス文書実務検定試験を受験しました。後期中間考査期間と重なってしまい、十分に勉強できないこともありましたが、両立して頑張りました。勉強方法は、筆記の過去問を解いたり、実際にWordを使用して文書作成の練習を行いました。不安が強かったのですが、無事に合格することができました。



▶ 危険物取扱者試験乙種第4類合格

3年A組 濱崎 蔵乃介

私は、11月19日に「危険物取扱者試験乙種第4類」を受験しました。受験したきっかけは進路が決まって時間に余裕ができたからです。しばらくはやる気が起きず、さすがにこのままではまずいと感じ、試験勉強を始めました。正直に言うとそこまで難しいと思っていませんでした。本当にこのままなら落ちたと思ったので、講習にも参加し、YouTubeなどを活用して真剣に取り組みました。3年間で色々な資格試験に挑戦し、合格して締め括ることができて良かったです。



▶ 日本漢字能力検定準2級合格

3年A組 川嶋 ひかり

私は、進学先での一つの武器になるよう、11月10日に行われた日本漢字能力検定準2級を受験しました。初めて参考書の問題を解いた時は間違いが多く、試験形式の結果も合格圏内に入ることができませんでしたが、間違えた箇所に印を付け、何度も繰り返し解くことで合格圏内に入ることができました。自分に合った教科で結果を出せたことは、特待生試験でも大きな強みになりました。標津町からの検定代補助などもあり、挑戦しやすい環境でした。これからも継続的に勉強をして能力を高めていきたいと思います。

